

# 第三学年 学習プリント① 熟語の読み方

課題 熟語の読み方について知ろう。

## ◎学習の流れ

- ①教科書を見ながら、ワークシートの空いているところを埋めていきましょう。
- ②二枚目は練習問題になっています。教科書を参考に、解いてみましょう。

1・2年生の教科書で「音読み」と「訓読み」について確認しておこう。

漢字には【音】【と】【訓】があり、熟語は、

次のように音と訓をさまざまに組み合わせる。熟語は、上の漢字が音読みなら下の漢字も音読み。上の漢字が訓読みなら下の漢字も訓読みになることが多い。

## ◎パターンA 音と音

例	着陸 (チャク・リク)
整頓 (セイ・トン)	
熟語を考えよう	哲学・頒布 表彰・携帯 評価・授業

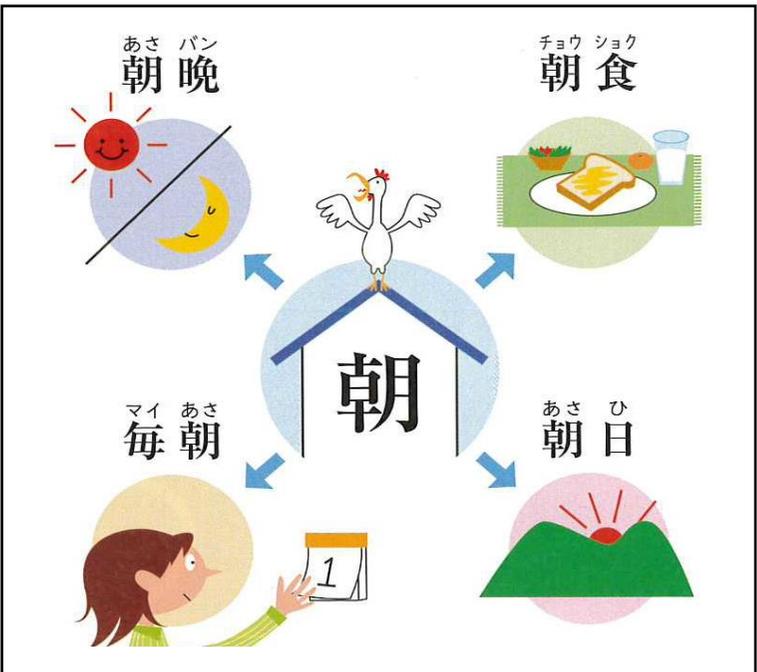
## ◎パターンB 訓と訓

例	着物 (き・もの)
長袖 (なが・そで)	
熟語を考えよう	外堀・枕元 居間・笑顔 相手・目上

## ◎パターンD 訓と音「湯桶読み」

「湯桶」は、「湯」を訓、「桶」を音で読む。上の漢字を訓、下の漢字を音で読むことを「湯桶読み」という。

例	夕刊 (ゆう・カン)
荷物 (に・モツ)	
粹内 (わく・ナイ)	
熟語を考えよう	手本・朝晩 場所・豚肉



## ◎パターンC 音と訓「重箱読み」

熟語の上下の漢字を組み合わせて読むもの。「重箱」は「重」を音、「箱」を訓で読む。このように、上の漢字を音、下の漢字を訓で読むことを「重箱読み」という。

例	仕事 (シ・ゴト)
両脇 (リョウ・ワキ)	
茶釜 (チャ・ガマ)	
熟語を考えよう	別棟・額縁 役場・両手

熟語の中には、漢字一字ごとに音や訓で読むのではなく、この特別な読み方をする。この特別な読み方を「熟字訓」という。

例 明日(あす) 今年(ことし) 五月雨(さみだれ) 白髪(しらぎ) 梅雨(つゆ) (吹雪) (ふぶき)

第三学年 熟語の読み方 学習プリント②

練習問題

① 次の傍線部の熟語を読もう。音片仮名と訓平仮名も書こう。そのうち重箱読み・湯桶読みには「重箱」もこくは「湯桶」と書きまじこまじょう。音・音の場合はや訓・訓の場合は斜線を引かれまじょう。

	問題	読み	音・訓	重箱・湯桶
①	例 峡谷を探検する。	キョウ・コク	音・音	
②	干潟にすむ生物。	ヒガタ	音・音	
③	喪中のはがき。	も・チュウ	訓・音	湯桶
④	藍色の返物を送る。	タン・もの	音・訓	重箱
⑤	川の浅瀬を渡る。	あさ・せ	訓・訓	
⑥	錦絵の博覧会。	にしき・エ	訓・音	湯桶
⑦	まっすぐに純粋な瞳。	ジュン・スイ	音・音	
⑧	国王に謁見する。	エツ・ケン	音・音	
⑨	繻玉を飾り付ける。	まゆ・だま	訓・訓	
⑩	錠前を取り付ける。	ジョウ・まえ	音・訓	重箱
⑪	患者を治療する。	チ・リョウ	音・音	
⑫	碁石を片付ける。	ゴ・いし	音・訓	重箱

② 次のアは音で、イは熟字訓で読もう。

	問題	読み		
①	ア 甲乙	こしあひ	ア	
	イ 乙女	おとめ	イ	
②	ア 崩壊	ほうかい	ア	
	イ 雪崩	なだれ	イ	
			③	
			ア	
			イ	
	問題	読み		
	撲滅	ぼくめつ	ア	
	相撲	すもう	イ	
	硫酸	りゅうさん	ア	
	硫黄	いおう	イ	
			④	